



謹 賀 新 年

多摩ハンドサッカー倶楽部

代表：雪琢馬

明けましておめでとうございます。昨年は当倶楽部の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

当倶楽部の昨年は、活動を支援してくださる方がありがたいことに増えました。当倶楽部は2008年の設立以来毎年少しずつではありますが、会員数が増え、その縁で支援してくださる方が増えました。このことは当倶楽部にとって大変ありがたいことであり、支援をしてくださる方が一人でも増えると、当倶楽部の活動やハンドサッカーの普及につながります。支援をしてくださる方々には日々感謝している次第でございます。

また、昨年の活動では、毎年8月に開催している「楽しもう！ハンドサッカー交流大会」においては、多くの方々に観戦に来ていただきました。そして12月には今年度で3回目の中央大学で講義を行いました。こちらも少しずつではありますが、ハンドサッカーを知っていただける人が増えております。

さて、本年の当倶楽部は「挑戦」という新たな目標の基、活動していきたいと思います。この「挑戦」というのは二つの意味があり、一つはフィール

ドプレイヤーの課題を見直し、新たな課題を設定して今まで以上にプレイの向上に挑戦したいと思っております。この「挑戦」は本来ハンドサッカーは「誰でもハンドサッカーで輝ける」という理念であります。しかしながら現状は「試合結果、勝敗」に重視しすぎて、試合に出れる人と、ベンチで待機する人に分かれてしまっております。今年からは全員で試合に望むということに「挑戦」したいと思っております。

そして二つ目の「挑戦は」ハンドサッカーを広めることへの「挑戦」です。

「ハンドサッカーを広める」ってことは当倶楽部設立以来の活動目標であり、これまでも「楽しもう！ハンドサッカー交流大会」の開催や、中央大学などでの講演活動をしてきました。今年は東京 2020・オリンピック・パラリンピックが開催されます。ハンドサッカーはどちらの競技種目ではございませんが、より多くの方々にハンドサッカーを知っていただける機会になる新たなイベントを企画していきたいと思っております。

本年も多摩ハンドサッカー倶楽部をよろしく願いいたします。

最後に本年もハンドサッカーがより一層発展することを願っております。



2020年1月